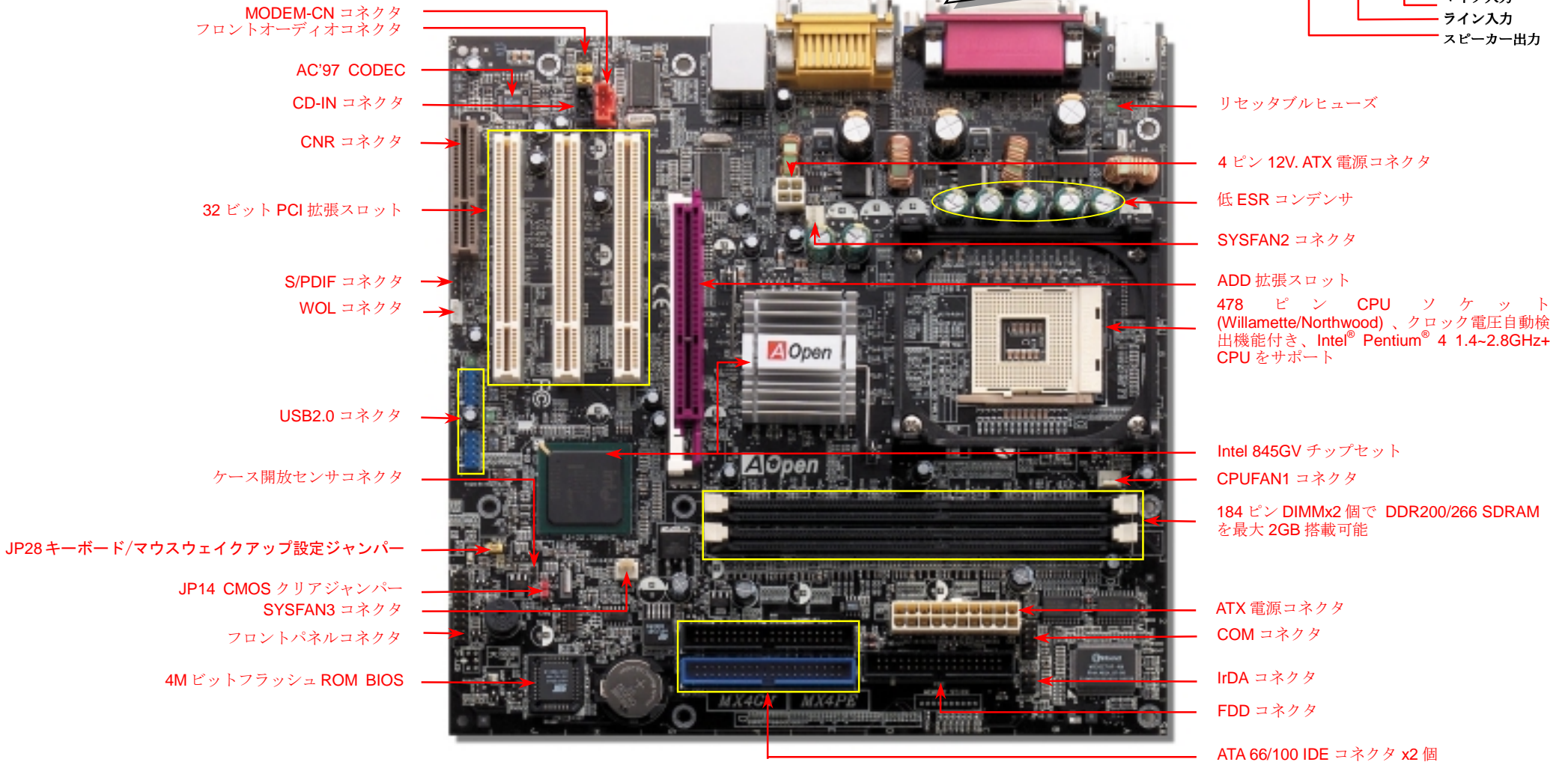
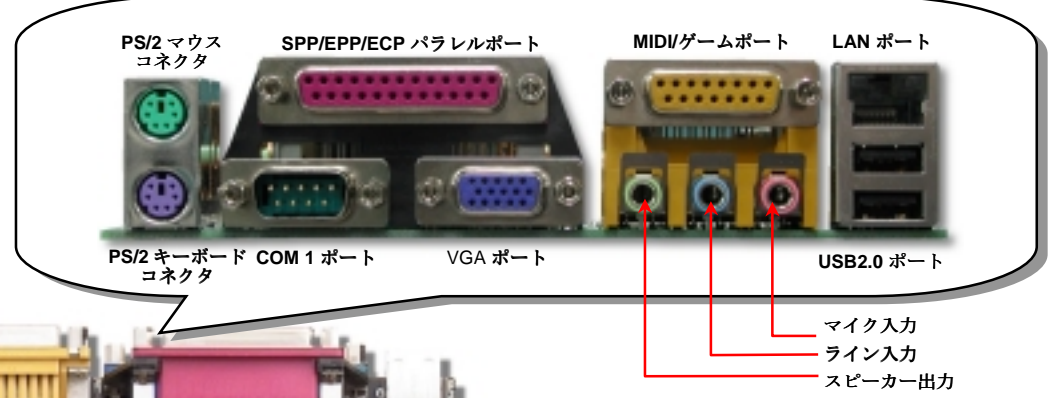


(AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について将来予告なしに変更する権利を有します。)

# MX4GV

## イージーインストールガイド



# インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーージーインストールガイドに載せられています。更に詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルが Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球の環境保護へのご協力に感謝いたします。

# 付属品チェックリスト

- ✓ 当イーージーインストールガイド x1 式
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル x1 本
- ✓ フロッピーディスクドライブケーブル x1 本
- ✓ 製品登録カード x1 枚
- ✓ Bonus Pack CD x1 枚



PART NO: 49.32Z01.061

DOC. NO: MX4GV-EG-J0209A

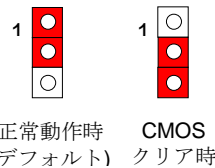
## 1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



1 番ピン

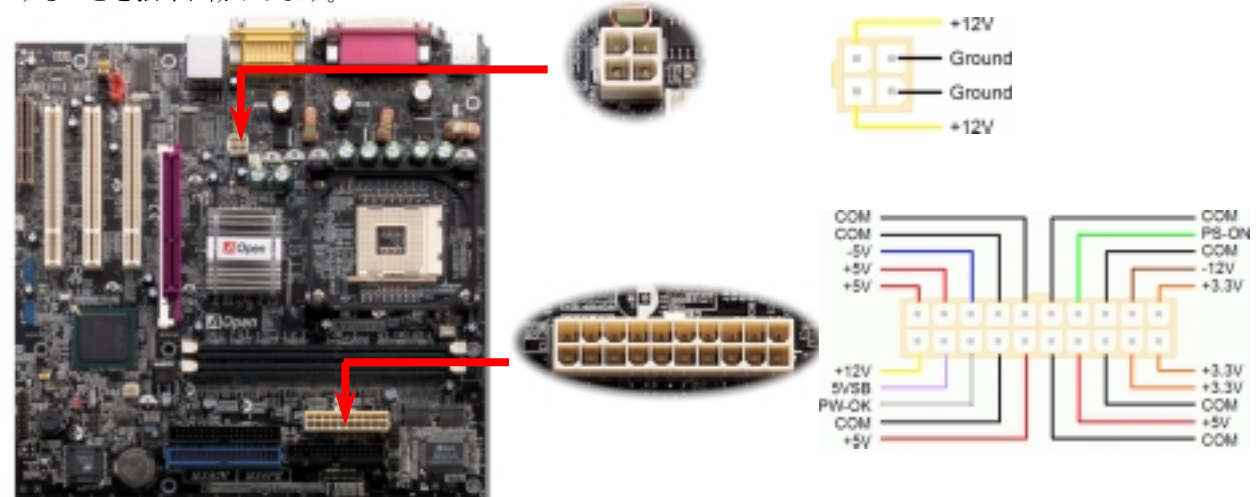


**ヒント** : CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

## 2. ATX 電源コネクタの接続

このマザーボードには下図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。

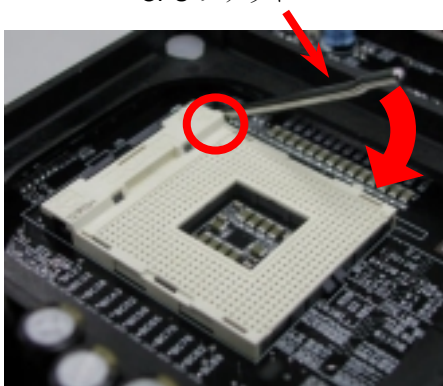




### 3. プロセッサのインストール

このソケットは Intel で開発された最新の CPU パッケージである Micro-FC-PGA2 パッケージ CPU に対応しています。その他形式の CPU パッケージは取り付けられません。

CPU ソケットレバー

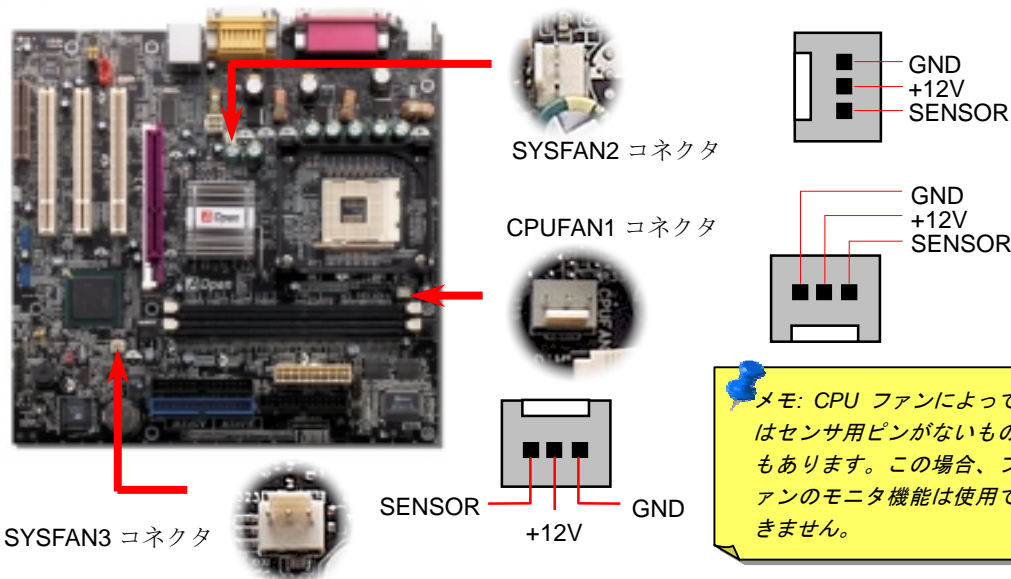


1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置および CPU 上部の (金色の) 面取り部を確かめます。1 番ピンおよび面取り部を合わせます。この方向で CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻すと、CPU のインストールは完了です。

**ご注意:** CPUソケットの1番ピンとCPUの面取り部を合わせないと、CPUに損傷を与えます。

### 4. CPU およびシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3-ピンの CPUFAN1 コネクタに差します。ケースファンを使用される場合は、ケーブルを SYSFAN2 または SYSFAN3 コネクタに接続します。



**メモ:** CPU ファンによってはセンサ用ピンがないものもあります。この場合、ファンのモニタ機能は使用できません。

### 5. CPU 電圧およびクロックの設定

#### CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は自動検出されます。

#### CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパー不要設計なので、CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能で、ジャンパースイッチ類は不要です。デフォルト設定は"table select mode (対応表から選択)"です。オーバークロック目的で FSB は"CPU Host/SDRAM/PCI Clock"から設定可能です。

#### BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPU レシオ	8x, 10x... 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOSの一覧表による)	100および133MHz.

Northwood CPU	CPUコアクロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	133MHz	533MHz	12x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	133MHz	533MHz	13x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.26G	2260MHz	133MHz	533MHz	17x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	133MHz	533MHz	18x
Pentium 4 2.53G	2530MHz	133MHz	533MHz	19x
Pentium 4 2.66G	2660MHz	133MHz	533MHz	20x
Pentium 4 2.8G	2800MHz	133MHz	533MHz	21x

**警告:** Intel 845GV は最大 533MHz システムバスおよび 66MHz AGP クロックをサポートしています。より高速のクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

**ご注意:** 最新のプロセッサである Northwood はクロックレシオを自動検出するので、BIOS からのマニュアル設定はできません。

Willamette CPU	CPUコアクロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x

Celeron CPU	CPUコアクロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x



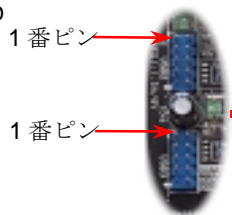
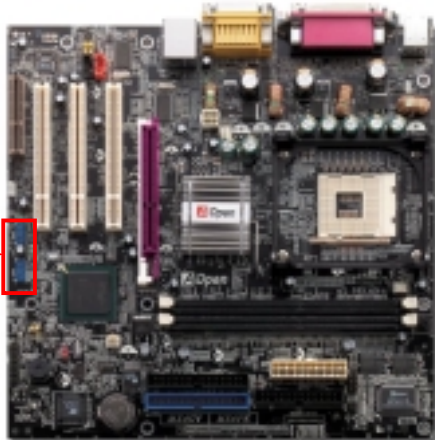
## 6. 第2 USB2.0 コネクタ

このマザーボードには 6 個の USB コネクタがあり、マウス、キーボード、モデム、プリンタ等の USB 機器が接続できます。ボード上には 2 個の USB コネクタがあり 4 台の USB 機器が接続可能で、さらに後部パネルには 2 つのポートがあります。適当なケーブルにより、USB 機器を PC99 後部パネルに接続またはフロント USB コネクタをケースのフロントパネルに接続できます。

+5V	1	+5V
SBD2-	2	SBD3-
SBD2+	3	SBD3+
GND	4	GND
KEY	5	NC

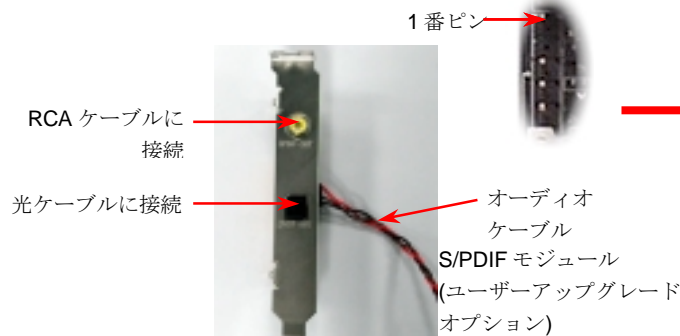
USB2.0 コネクタ

1 番ピン

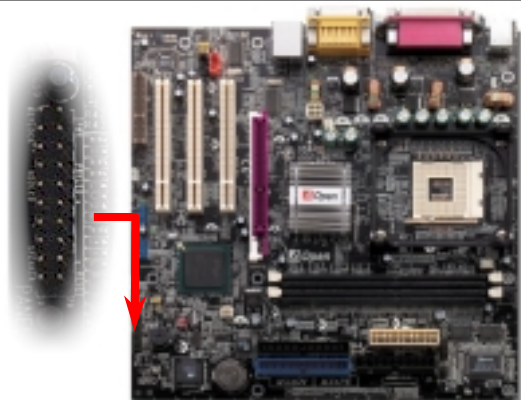


## 8. S/PDIF コネクタ

S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。図示されているように通常 S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。専用オーディオケーブルにより、S/PDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの S/PDIF 出力を S/PDIF デジタル入力対応スピーカーに接続する必要があります。



## 7. フロントパネルケーブルの接続



1	SPWR
IDE LED	ACPI & PWR LED
Speaker	ACPILED (Blue)
	Reset

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差ししてください。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。

1	NC	5VSB
NC	SPWR	ACPI LED-
+5V	ACPI LED+	GND
IDE LED	ACPILED	NC
IDE LED	NC	ACPI_B
+5V	ACPI_B	GND
GND	GND	RESET
NC	RESET	GND
SPEAKER	GND	

## 9. フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタからジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は黄色いキャップを外さないでください。

1 番ピン

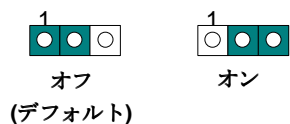
1	AUD_MIC	AUD_GND
AUD_MIC_BIAS	AUD_VCC	AUD_RET_R
AUD_FPOUT_R	AUD_RET_R	NC
	KEY	
AUD_FPOUT_L	AUD_RET_L	





## 10. JP28 キーボード/マウスウェイクアップ用ジャンパー

このマザーボードにはUSBまたはPS2キーボード/マウスウェイクアップ機能を有します。接続されているUSBキーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフにはJP28を使用します。工場デフォルト設定は“オフ”(1-2)ですが、ジャンパー位置を2-3にすることでこの機能がオンになります。



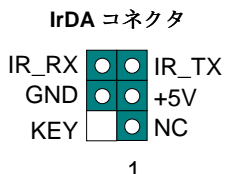
1 番ピン



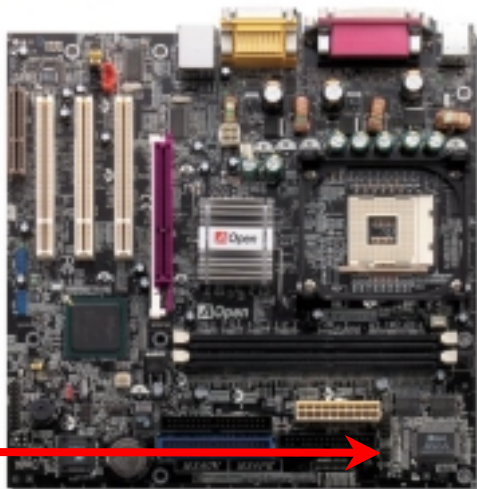
## 11. IrDA コネクタ

IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 のケーブル接続等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。

IrDA コネクタに赤外線モジュールを接続し、BIOS セットアップの UART Mode で正しく設定します。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。

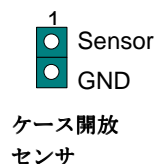


1 番ピン



## 12. ケース開放センサコネクタ

“CASE OPEN”ヘッダーはケース開放センサ機能を提供します。利用の際はユーザーは2-ピンのケース開放センサをヘッダーと接続し、システム BIOS からケース開放モニタ機能をオンにします。そこでケースを開けて光センサなどが検知すると、システムはビープ音で知らせます。この機能は最近のケースでサポートされているものの、場合によっては別売のセンサを購入・設置が必要であることにご注意ください。

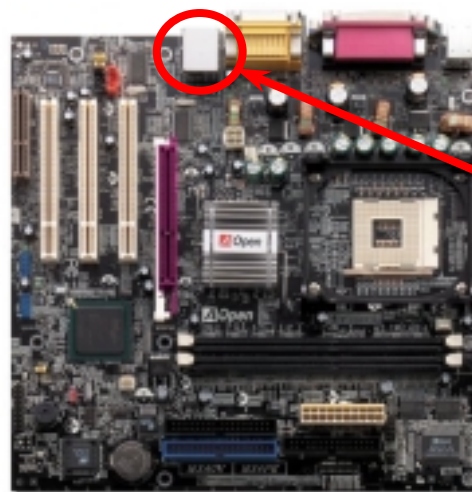


1 番ピン



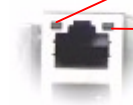
## 13. オンボード 10/100 Mbps LAN サポート

高度統合化プラットフォーム LAN 接続デバイスであるオンボードの Realtek 8100BL LAN コントローラにより、オフィスや自宅での 10/100Mbps イーサネットがサポートされています。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。緑の LED はリンクモード表示で、ネットワークにリンクしているときに点灯します。オレンジの LED はデータ転送モード表示で、100Mbps モードで点灯します。この機能のオン/オフは BIOS 経由で容易に行えます。



緑/ACT

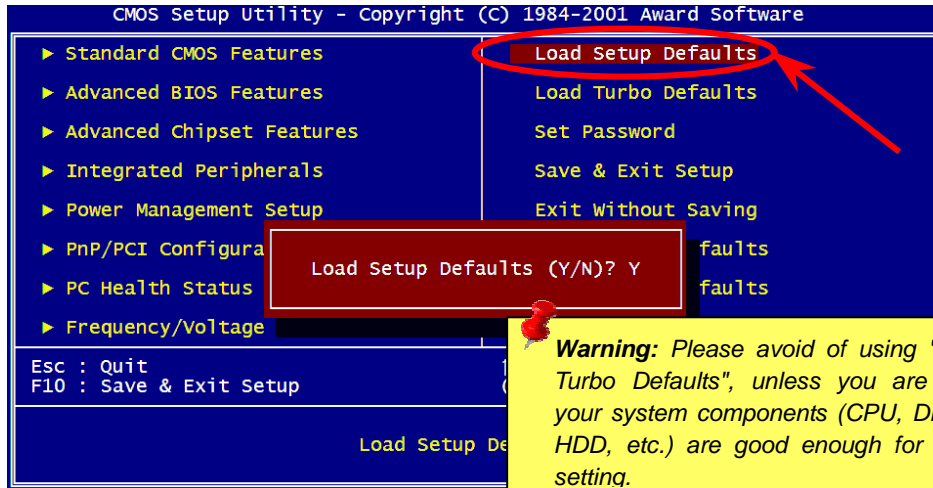
オレンジ/速度



## 14. 電源オンおよびBIOS 設定のロード

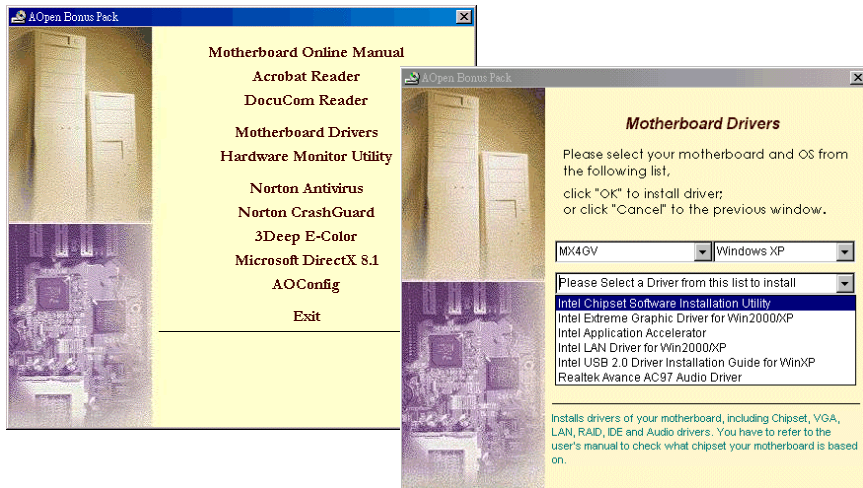
Del

ジャンパー設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中に <Del>キーを押します。"Load Setup Defaults"を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



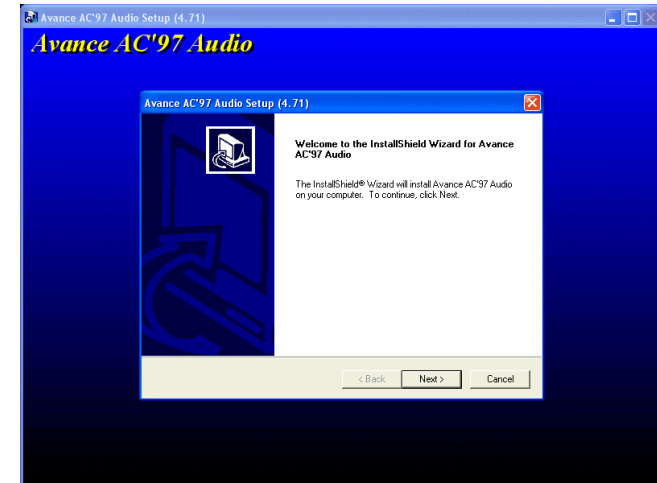
## 15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートランによるメニューが使用できます。必要なユーティリティを選び、ドライバ、型式名を指定します。型式名指定後、対応する AGP、IAA、オーディオ、LAN および USB2.0 の各ドライバが CD からインストール可能です。



## 16. オンボードオーディオドライバのインストール

当マザーボードには [AC97 CODEC](#) が装備されています。当オーディオドライバは Windows 98SE 以上の Windows OS に対応しています。オーディオドライバは Bonus Pack CD オートランメニューから見出せます。



## 17. BIOS Upgrade

BIOS のアップグレードは EzWinFlash を利用して以下のステップで行います。アップグレードを始める前に他のアプリケーションは全て終了させるよう強くお勧めします。

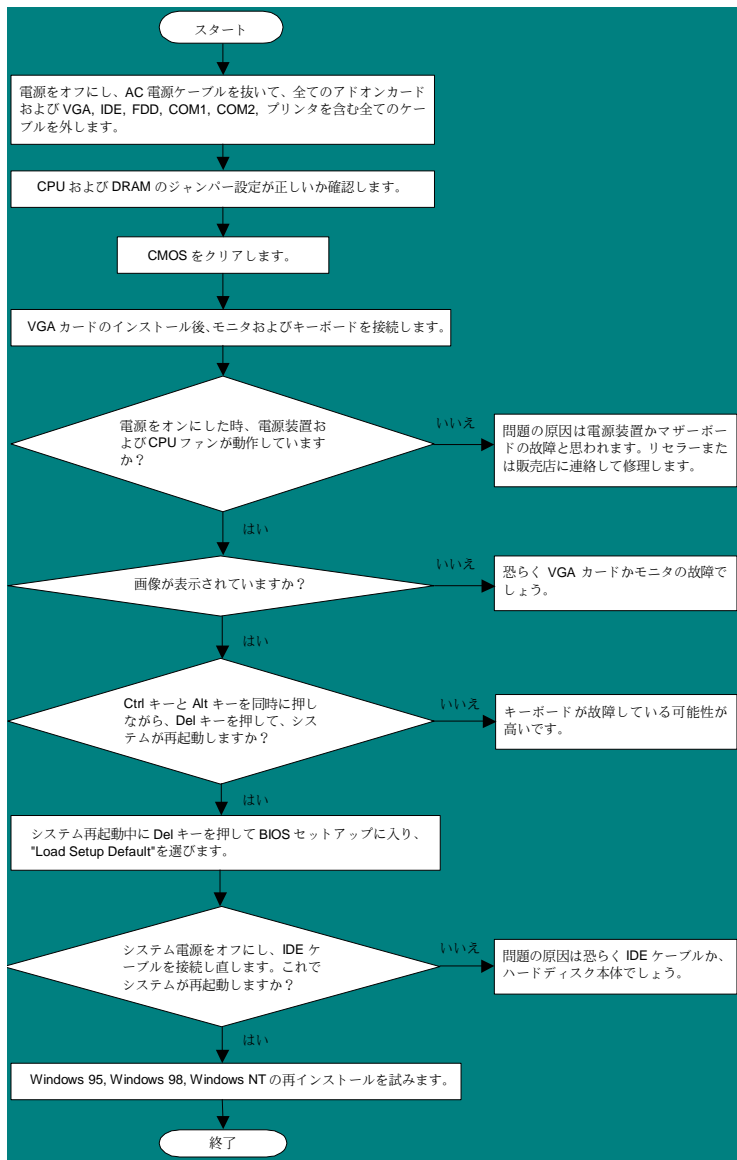
1. AOpen の公式ウェブサイトから最新の BIOS パッケージ [zip](#) ファイルをダウンロードします。ダウンロードされた BIOS パッケージ(例: WMX4GV102.ZIP) を Windows 環境では WinZip (<http://www.winzip.com>) で解凍します。
2. 解凍された WMX4GV102.EXE および WMX4GV102.BIN を同一フォルダ内に保存します。
3. WMX4GV102.EXE をダブルクリックすると、EzWinFlash はマザーボードのモデル名および BIOS バージョンを自動検知します。BIOS が一致しない場合はフラッシュ操作には進めません。
4. メインメニューから使用言語を指定し、[フラッシュ開始]をクリックすると BIOS アップグレードが始まります。
5. EzWinFlash が残りのプロセスを自動処理したあと、ダイアログボックスが表示され、Windows を再起動するか聞いてきます。[再起動する]をクリックすると、Windows が再起動されます。
6. POST 実行中に <Del>キーを押して [BIOS セットアップを起動](#) します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup (保存して終了)" します。これでアップグレード完了です。

フラッシュ処理の際は表示がない限り、絶対に電源を切ったり他のアプリケーションを起動したりしないで下さい。



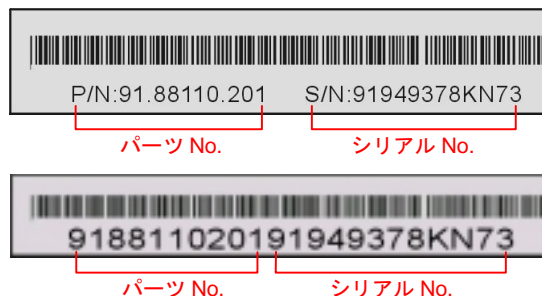
# トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた際は、以下の手順で問題を解決します。



## パーツ番号およびシリアル番号

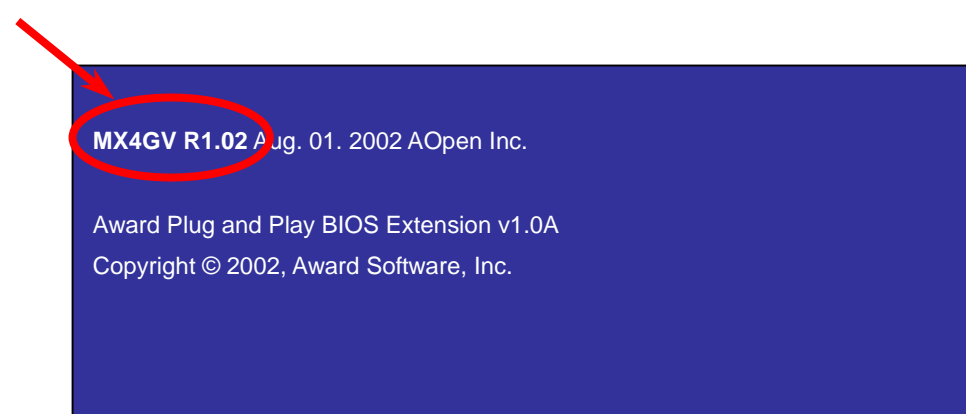
パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。ラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下が一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 がシリアル番号です。

## 型式名およびBIOSバージョン

型式名および BIOS バージョンは最初の起動画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



MX4GVがマザーボードの型式名で、R1.02がBIOSバージョンです。





# テクニカル サポート

お客様各位,

この度は AOpen 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら毎日いただく E メールおよび電話のお問合せが世界中から無数にあり、全ての方にタイムリーなサポートをご提供いたすのは困難を極めております。弊社にご連絡になる前に下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供させていただけます。皆様のご理解に深く感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域  
AOpen Inc.  
Tel: 886-2-3789-5888  
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ  
AOpen Computer b.v.  
Tel: 31-73-645-9516  
Fax: 31-73-645-9604

中国  
艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司  
Tel: 86-21-6225-8622  
Fax: 86-21-6225-7926

ドイツ  
AOpen Computer GmbH.  
Tel: 49-1805-559191  
Fax: 49-2102-157799

米国  
AOpen America Inc.  
Tel: 1-510-489-8928  
Fax: 1-510-489-1998

日本  
AOpen Japan Inc.  
Tel: 81-048-290-1800  
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: <http://www.aopen.co.jp/>

E メール : 下記のご連絡フォームをご利用になりメールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

1

オンラインマニュアル: マニュアルをよくご覧になり、ジャンパー設定およびインストールの手順が正しいことをご確認ください。  
<http://www.aopen.co.jp/tech/download/manual/default.htm>

2

テストレポート: PC 組立てには、互換性テストレポートから board/card/device の部分をご覧ください。  
<http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられる質問)からトラブルの解決法が見つかるかもしれません。  
<http://www.aopen.co.jp/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: 下表からアップデートされた最新の BIOS またはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。  
<http://www.aopen.co.jp/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: コンピュータエキスパートからの投稿が掲載されています。ここでの討論へのみなさんの参加を歓迎いたします。  
<http://www.aopen.co.jp/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店、リセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定およびそのトラブルに対して先方が弊社より明るい可能性があります。また先方のユーザーへの対応の仕方が、次回に別の製品をお求めになる際の参考ともなるでしょう。

7

弊社へのご連絡: ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOS バージョンも大変参考になります。